

学校施設整備について



高木 雄大 議員

**質問**…小中学校のトイレ洋式化の状況をお伺いいたします。

**答弁**…平成28年11月現在、小中学校のトイレ洋式化の状況でございますが、市内小中学校に設置されております大便器の数は894台でございます。そのうち洋式便器は341台です。で、現在の洋式化率は38%でございます。小中学校の内訳といたしましては、小学校は550

台中233台が洋式便器となっており、洋式化率は42%、中学校は344台中108台が洋式便器となっております。洋式化率は31%でございます。

トイレ洋式化計画として、平成28年度から平成32年度の5カ年において、野崎中など11校の小中学校に116基の洋式便器を設置いたします。今年度は、親園中及び金田南中に20基の

洋式便器を設置いたしました。

今後、小中学校の再編整備計画との整合性を図るとともに、空気調和・衛生工学会の衛生器具の適正個数算定法を基準とし、総便器数の50%以上洋式化することを目標に、トイレの洋式化を進めたいと考えています。

一般質問



秋山 幸子 議員

バイオマス活用推進計画について

**質問**…大田原市でバイオマス事業の取り組みに関わる地元の農家さん、酪農家さん、木材の事業所さんは、かなり大きい経営をなさっている方が多く、市民の中では、やはり大きいところ

がやるのですねとなってしまいます。市民目線に立ったバイオマス事業として、学校給食に使える作物をつくる、その土壌をつくる

ための堆肥、これが多くの市民に還元できるような展開があれば、市民にとっても、とても良いことをやっているとなるのではないのでしょうか。

完熟堆肥で、健康な土壌から健康な作物をつくって、これから生きる子供たちの体をつくる食べ物につなげていく視点は、大事ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

**答弁**…堆肥センター等につきましては、バイオマス産業都市計画の中で、よく検討していきたいと思えます。その中で、どのような形になってくるか、まだはつきりわかりませんが、バイオマスを使った健全な土づくりにつながるような肥料もつくれば一番いいかなと思っております。